



志村第一小学校コミュニティ・スクール委員会だより

〈家庭数配付〉

令和8年1月23日

板橋区立志村第一小学校

校長 高橋 宏彰

第5回コミュニティ・スクール委員会を令和8年1月17日（土）に開催しましたので、次のとおり実施状況を報告します。

1 校長より

最初に校長より令和8年度の教育課程について、最重点教育活動を軸に以下の説明がありました。

- (1) 学習者の主体性を育み、思考力・判断力・表現力・読み解く力等を資質・能力を育成する教育活動
現時点では根付くまでは至っていない。自分たちで学びを作るような校内研究へと高めていく。
- (2) 「しみず学びのエリア」の研修では、子どもたちがこれから生きていく上で必要な資質・能力の育成について、熟議を行う。

10月の「しみず学びのエリア」で本校の授業を公開する。幼稚園との交流も引き続き充実させていく。

- (3) 家庭・地域・近隣幼稚園等と連携した読み聞かせを軸とした読書活動を充実する。

子どもたちの「本が好きだ」という思いを高めていきたい。

(例) 図書委員会児童と司書との連携した活動 清水図書館司書による読み聞かせ

- (4) 学級活動（話し合い、合意形成、役割分担、自主的・実践的な取組）を充実させ、自治的能力を育成する。(例) 委員会活動の充実 栽培美化委員による校舎内の環境美化のなど

- (5) 学習内容の理解や定着等、効果的な一人一台端末の教育実践をさらに推進する。

一人一台端末の活用能力の向上（教員側が活用能力を一層高め、指導に生かしていく。）

2 熟議テーマ「令和8年度の学校経営の充実に向けて」

話を受けて、令和8年度の学校経営の充実に向けて熟議を行いました。

(熟議で出たご意見)

- AIについては、思考力・判断力がないと使いこなせないと考えている。
- 3年生でもブラインドタッチができるようになって驚いた。
- 専用アプリを活用することでブラインドタッチなどが自然と身に付いていくと思う。
- これからは、AIとアナログのハイブリットの活用になっていくのではないかな。
- AIとアナログのそれぞれのよさを生かしていかなければならない。

(例) AIのよさ…複数の情報を整理していくことができる。

アナログのよさ…直接会話によるコミュニケーションを図ることができる。

- AIに介護の方法について質問した際、対応として適した内容が返ってきた。ただ、介護する相手は人間なので、相手の思いを受け止めた上で対応を進めていかなければならない。
- 図工の授業では、音楽を聴きながら作品づくりに取り組んでいることに感銘を受けた。
- 意見をまとめると、AIを活用する場面と活用しない場面のメリハリを大切にしたい。



授業公開の様子

熟議を経て、令和8年度の教育課程に委員の皆様からご賛同を得ることができました。